

Apple Car Play/AndroidAuto 対応
SKYcreation オリジナル ディスプレイオーディオ

取扱説明書

SKY-DA10F : 10.1 インチ液晶フローティングディスプレイオーディオ

SKY-DA8F : 8 インチ液晶ディスプレイオーディオ

SKY-DA7F : 7 インチ液晶ディスプレイオーディオ



SKY-DA10F



SKY-DA8F



SKY-DA7F

はじめに

Apple Car Play/AndroidAuto対応 SKYcreationオリジナル ディスプレイオーディオをご購入いただき、ありがとうございます。

本取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

特に“安全上のご注意”（P.4～5）“使用上のご注意”（P.6～7）はご使用前に必ずご一読ください。

- この取扱説明書に記載されているソフトウェアは、ライセンスの所有者にのみ供給され、同ライセンスの許可する条件のもとでのみ使用することが許されます。
- 該ライセンスが許可している場合を除き、本出版物のいかなる部分も株式会社 SKYcreation の書面による事前の許可なしには、いかなる条件下でも、また電子的・機械的・録音・その他のいかなる手段によっても、コピー・検索システムの記憶・転送を行うことはできません。
- この取扱説明書に記載された内容は、情報の提供のみを目的にしており、予告無しに変更されることがあります。
- 仕様および外観は、改良のために予告なく変更する場合があります。
- 本説明書の写真やイラストは、撮影・印刷条件により、実物と印象が相違する場合があります。
- 本製品は日本国内専用です。

もくじ

安全上のご注意	4
使用上のご注意	6
製品の構成	9
各部名称	10
設定	14
システム	15
スマートフォン連携	16
ディスプレイ	16
Video Output	17
Audio	17
Driving(バックカメラ / 走行規制設定)	18
ステアリングコントロール	19
操作	
ラジオ	20
USBメモリー	21
USB(音楽ファイルの再生)	23
USB(画像ファイル)	24
USB(動画ファイルの再生)	25
Bluetooth Music	26
AV IN	27
CarPlay	28
Android Auto	29
iOS Mirror	30
Bluetoothの接続	31
電話を受ける / 拒否する	33
製品仕様	35
保証書	37
問い合わせ先	39

安全上のご注意

- ご使用前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項または、警告事項は安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。記載されている注意、警告事項は危険な状況をすべて網羅しているわけではありません。使用に際しては十分に注意してください。
- 取扱説明書は保証書と一緒にお使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。



警告

誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

誤った取り扱いをすると人が障害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。



注意（告を含む）しなければならない内容を示しています。



警告



強制

DC12V マイナスアース車専用です
24V 車で使用しないでください。事故・火災・故障の原因になります。

コードの被がない部分はテープなどで絶縁する
ショートにより、火災や感電、故障の原因になります。

取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する
正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因になります。

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管する
誤って飲み込み、事故・ケガの原因になります。飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

配線作業の前にはバッテリーのマイナス端子からアース線を外して、配線作業をする
感電・ケガの原因になります。

コード類は運転操作の妨げとならないように束ねる
ハンドル・変速レバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故・故障の原因になります。

説明書に従って、取り付け・配線をする
作業は、手順通りに正しく行ってください。火災・事故の原因になります。

安全のため、パーキングブレーキ線を必ず接続する
交通事故の原因になります。パーキングブレーキ線の接続により、走行中はテレビ、ビデオの画像が表示されず、音声のみとなります。また、画面を注視する必要がある複雑な機能は操作できないようになっています。

取り付け・配線、取り付け場所の変更は、安全のため必ず販売店に依頼する
取り付け、配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、事故・火災・ケガ・故障の原因となります。また、お客様ご自身による取り付け・配線は、事故・火災・ケガ・故障の原因になります。

安全上のご注意



警告



禁止

分解・改造をしない

特にコードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には、取り付けない
事故・ケガの原因になります。

取り付け・アース接続には、ハンドル・ブレーキ・タンクなどのボルトやナットを使わない
制動不能・火災の原因になります。

助手席エアバッグの近くに取り付け・配線をしない

エアバッグの動作を妨げ、死亡事故・ケガの原因になります。

車体に穴を開ける場合には、パイプ・タンク・電気配線などを傷つけない
事故・火災の原因になります。



注意



強制

車体のネジを使用して取り付けを行うときは、ネジが緩まないように確実に締め付ける
ネジが緩み、事故・故障の原因になります。

コード類を車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にはさんだり、突起部に当てないように配線する
断線やショートにより、感電・火災の原因になります。

付属部品を指定通りに使い、確実に固定する

付属の部品以外の使用や指定用途以外の使用は、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故・故障の原因になります。



禁止

コード類は絶対に途中で切断しない

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因になります。

コード類の配線は、車体の高温部に接触させない

火災や感電の原因になります。

水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けない

火災・故障の原因になります。

通風孔・放熱板をふさがない

事故・火災の原因になります。

使用上のご注意

警告



強制

ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守る
事故・火災・故障の原因になります。

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず停車してパーキングブレーキをかける
交通事故の原因になります。テレビやビデオは、安全のため走行中は表示されません。

カメラ使用時も目視による安全確認を必ず行う

カメラの死角になっている人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因になります。



禁止

故障や異常な状態のまま使用しない

音や画面が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、必ず販売店（かサービス相談窓口）に相談する。そのまま使用すると事故・火災・感電の原因になります。

運転中は操作をしたり、画面を見ない

交通事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、必ず安全な場所に停車してください。

カメラは周囲確認の補助装置です。カメラの画像だけを見て運転しない

カメラ画像で表示できる範囲には限りがあるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因になります。

注意



強制

車実際の交通規制に従って運転する

ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると、実際の交通規制に反する場合があります、交通事故の原因となります。



禁止

車以外には使わない

感電・ケガの原因になります。

メディア挿入口、モニターの開閉時のすきま等の機器内部に、指や異物を入れない

ケガ・故障の原因になります。

落下させる、たたくなどの強い衝撃を与えない

故障・火災の原因になります。

大きな音量で使用しない

車外の音が聞こえないことによる交通事故・故障または聴力障害の原因になります。



カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なるため注意して使用する

事故の原因になります。

使用上のご注意



注意

本機の近くでは無線機を使わない

- ・本機側の雑音や誤動作の原因になったり、無線機の正常な送受言ができなくなる場合があります。無線機は、本機から離れてご使用になることをおすすめします。また、リモコンスターター・カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。
- ・キーレスエントリーシステムが装着されている車では、キーを本機に近づけると、キーレスエントリーシステムがキーを認識しなくなる場合があります。また、キーを本機や Bluetooth オーディオ機器に近づけると、音飛びが発生する場合がありますので、キーを離してご使用ください。

無理な力を加えない

- ・製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いします。

お手入れは乾いた布を使う

- ・お手入れは乾いた布が堅く絞った布でふいてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

- ・車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

温度上昇について

- ・本体背面が暖かくなりますが、故障ではありません。手をふれないでください。

ディスプレイについて

- ・濡れたままの手や手袋をつけた手では操作しないでください。正常に動作しない場合があります。

本機は国内で使う

- ・本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

・メンテナンスについて

- ・モニターが汚れたら柔らかい布（シリコンクロスなど）でふいてください。
- ・汚れがひどい場合は水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、よくしぼってからふきとってください。
- ・「水」や「水で薄めた中性洗剤」は直接モニターにかけないでください。
- ・液体が内部に入り「シミ」や「故障」の原因になります。
- ・モニターは傷つきやすいため、硬いものでふいたり、こすったり、物をぶつけたり、強い力で押しついたりしないでください。
- ・ベンジン・アルコール・シンナーは使用しないでください。変色・変質の原因になります。



注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

使用上のご注意

電波に関するご注意

- 本機は電波法に基づく省電力データシステム無線局設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本機を使用するときには無線局の免許は必要ありません。また、本機は日本国内のみで使用できます。
- 下記の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
 - ・分解 / 改造する。
 - ・本機に貼ってある証明シールをはがす。
- 本機の無線機能は、2.4GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器（電子レンジ、無線 LAN 機器など）が使用しているので、電波の干渉により無線機能の接続が途切れたり、使えなくなることがあります。また、他の機器の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。本機は電波の干渉を受けにくい方式ですが下記の内容に注意してください。
 - ・無線 LAN を利用した AV 機器、防犯機器などをしようとしている環境で、本機の無線機能を使うと、接続が途切れたり、無線 LAN 機器の動作に影響を与えることがあります。
- その他、下記の機器でも 2.4GHz 周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、接続が途切れたり、使えなくなることがあります。また相手の機器の動作に影響を与えることがあります。
 - ・火災報知器、ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、コンピュータなど）
 - ・工場や倉庫などの物流システム、鉄道車両や緊急車両の識別システム
 - ・マイクロ波治療器、ゲーム機のワイヤレスコントローラー
 - ・自動ドア、万引き防止システム（書店、CD ショップなど）
 - ・アマチュア無線局など

2.4 FH1/DS/OF 2

- 2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。
FH / DS / OF : FH-SS, DS-SS, OFDM 変調方式を表します。
1 : 想定される与干渉距離（約 10m）を表します。
2 : 想定される与干渉距離（約 20m）を表します。

 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

製品の構成

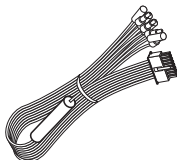
ディスプレイオーディオ本体

- SKY-DA10F : 10.1 インチ液晶フローティングディスプレイオーディオ
- SKY-DA8F : 8 インチ液晶ディスプレイオーディオ
- SKY-DA7F : 7 インチ液晶ディスプレイオーディオ

いずれか1種



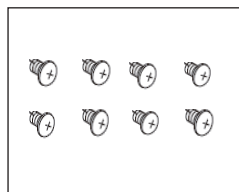
電源ケーブル



スピーカーケーブル



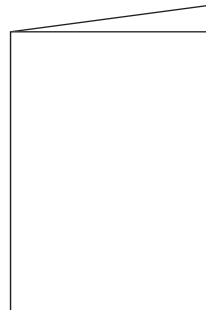
外部マイク



ネジ袋



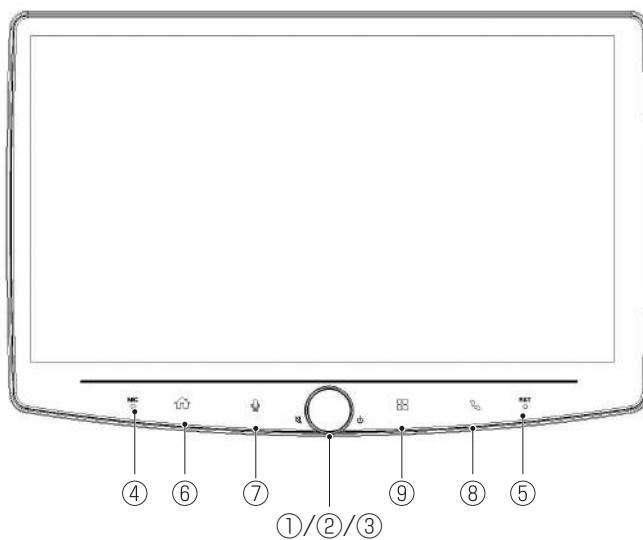
取扱説明書（本誌）
保証書付



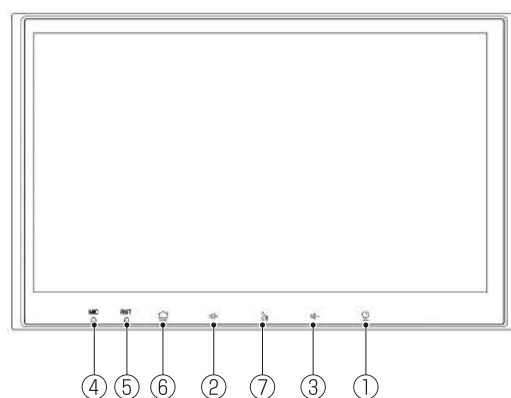
取付説明書

各種名称

SKY-DA10F (10.1インチモデル)



SKY-DA8F (8インチモデル)



各種名称

SKY-DA7F (7インチモデル)



①POWER

押す事で、電源の ON/OFF が出来ます。“7 インチ”、“8 インチ”モデルの場合
短押し：ON/ ミュート
長押し：ON/ 電源 OFF

②ボリュームアップ

“10.1 インチ”モデルはノブを右回転

③ボリュームダウン

“10.1 インチ”モデルはノブを左回転

④マイク

外部マイクを接続していない場合、音声認識やハンズフリー時のマイク入力

⑤リセット

本製品の動作が不安定になったり、何も操作できなくなったりした場合などに使用します。リセットボタンを押すと、本製品はリセットされます。

⑥ホーム

ホームメニューを開きます。

⑦音声認識

Apple CarPlay と Android Auto のボイスコマンド機能が起動します。

⑧電話 (“10.1 インチ”モデルのみ)

ハンズフリーの機能が起動します。

⑨モード切り替え (“10.1 インチ”モデルのみ)

押すごとに、モードが切り替わります。

各種名称

■ホーム画面

画面を横にスクロールしメニューを表示します。ホーム画面は3ページあります。



画面をスクロールします。

画面をスクロールします。

■ホーム画面 1



① : CarPlay

② : Android Auto

③/⑫ : Bluetooth Audio

④ : USB

⑤/⑬ : Radio

⑥ : Status

⑦ : AV IN

⑧ : Bluetooth

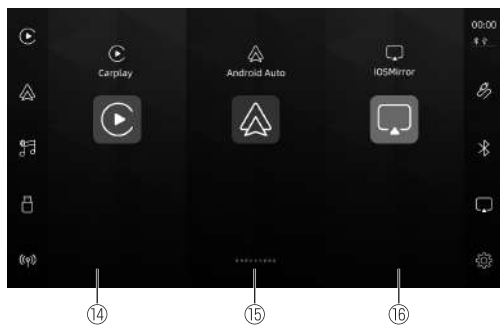
⑨ : iQOO Mirror

⑩ : 設定

⑪ : 日時

各種名称

■ホーム画面 2



- ⑭ : CarPlay
- ⑮ : Android Auto
- ⑯ : IOSMirror

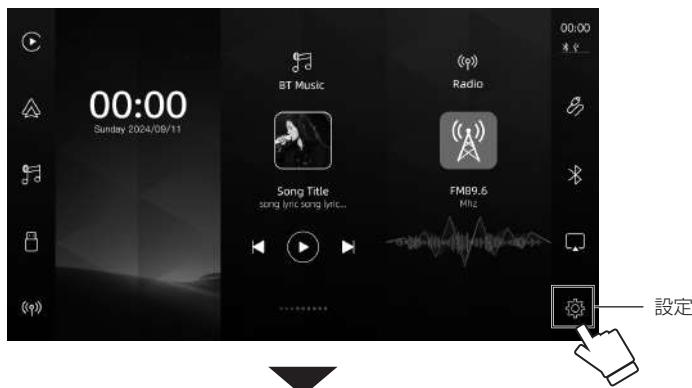
■ホーム画面 3



- ⑰ : Bluetooth
- ⑱ : IOSMirror
- ⑲ : AV IN

設定

■[🏠 ホーム] をタップし、画面右下の歯車の [⚙️ 設定] をタップします。



■設定ページ内の各種設定を行います。



- ①システム : システムに関する設定を行います。
- ②スマートフォン連携 : スマートフォン連携の設定を行います。
- ③WiFi : Wifi 設定を行います。
- ④ディスプレイ : 色合い、明るさ等の設定を行います。
- ⑤Video Output : ビデオ出力の設定を行います。
- ⑥Audio : ボリューム / EQ / 遅延 / フィルターの設定を行います。
- ⑦ラジオエリア : ラジオエリアを設定します。Japan を選択してください。
- ⑧Driving : バックカメラ / 走行規制等の設定を行います。
- ⑨ステアリングコントロール : 2 ワイヤ方式のステアリングリモコン学習の設定を行います。
- ⑩開発者向け設定 : 開発者モード設定 (通常は使用しません。)

設定

■設定ページの [システム] をタップしシステムページ内の各種設定を行います。



- ①言語 : 言語設定を行います。
- ②右ハンドル : 右ハンドル車の設定を行います。
- ③日時設定 : 日時設定を行います。
*注意: バッテリーを外すと日時設定のメモリーが消えます。バッテリーを外した際は、再度設定願います。
- ④壁紙 : 壁紙設定を行います。
- ⑤ボタン照明設定 : イルミオン時のボタン色の設定を行います。
- ⑥タッチキャリブレーション : タッチスクリーンのキャリブレーションを行います。
- ⑦ユーザーのアップグレード : ファームウェアのアップデートを行います。
- ⑧システムバージョン : バージョン表示を行います。

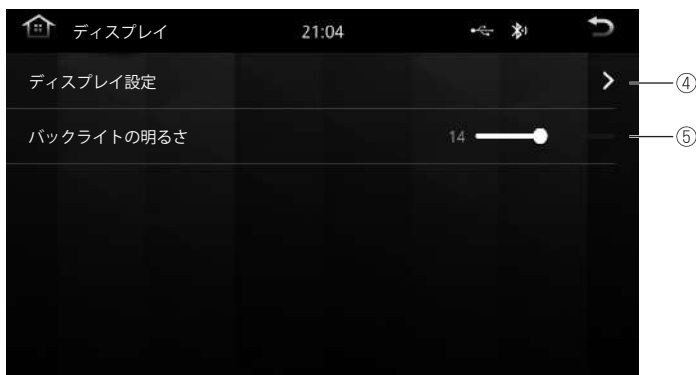
設定

- 設定ページの [スマートフォン連携] をタップ [スマートフォンリスト] をタップし [スマートフォン設定] ページから各種設定を行います。



- ①AndroidAuto : AndroidAuto の設定を行います。
- ②CarPlay : CarPlay の設定を行います。
- ③IOSMirror : IOSMirror の設定を行います。

- 設定ページの [ディスプレイ] をタップし各種設定を行います。



- ④ディスプレイ設定 : 明るさ / 彩度 / 色度 / コントラストの設定を行います。
- ⑤バックライトの明るさ : LCD バックライトの明るさ調整を行います。

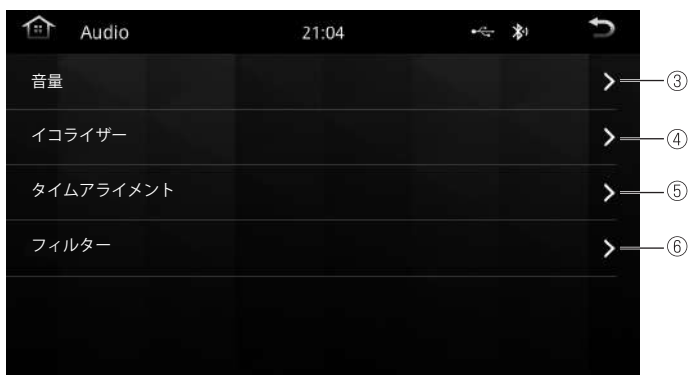
設定

■設定ページの [Video Output] をタップし各種設定を行います。



- ①Video Output : ビデオ出力の設定を行います。
- ②CVBS 出力タイプ : ビデオ出力の方式 (NTSC/PAL) の設定を行います。

■設定ページの [Audio] をタップし各種設定を行います。



- ③音量 : 各モードのボリュームを設定を行います。
- ④イコライザー : イコライザーの設定を行います。
- ⑤タイムアライメント : 遅延の設定を行います。
- ⑥フィルター : フィルターの設定を行います。

設定

■設定ページの [Driving] をタップし各種設定を行います。



- ①パーキング目安線 : バックカメラ表示時の目安線表示の有無の設定を行います。
- ②バックカメラ鏡像 : バックカメラ表示時のミラー反転の設定を行います。
- ③Camera Format : カメラの映像フォーマットの設定を行います。
- ④運転中の警告 : 映像表示する際の走行規制の設定を行います。
- ⑤リバース時の Mute : バック走行時のミュート設定を行います。

設定

■ステアリングコントロール

取付説明書を参照し、ステアリングスイッチの配線を接続します。ステアリングのスイッチ類で機器をコントロールする為の設定を行います。

ホーム画面から[設定]をタップし、設定ページ内の[ステアリングコントロール]からステアリングスイッチの割り当てを行います。



■ステアリングスイッチの割り当て

1. 割り当てたいリモコンキーを押した状態にします。
2. 登録したい機能をタップします。



3. 登録した機能 (Vol+) がハイライトされます。
4. 同様に他のリモコンキーも登録します。
5. 最後に [確定] をタップすると、登録が完了します。

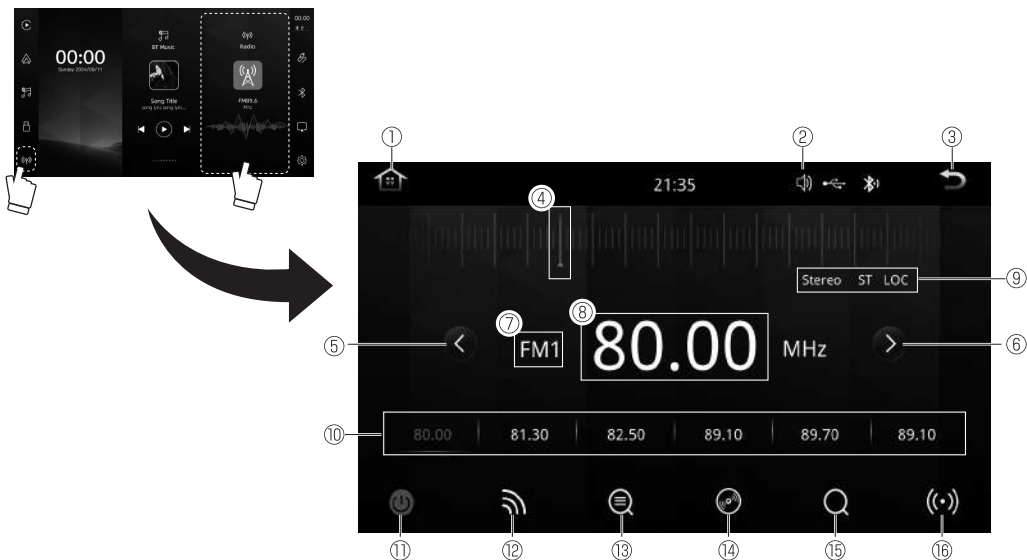


※注意：バッテリーを外すとメモリーが消えます。バッテリーを外した際は、再度設定願います。

操作

■ラジオを聴く

ホーム画面もしくはサイドメニューの [📻ラジオ] をタップするとラジオ画面が表示されます。



- ①ホームボタン
ホーム画面に切り替えます。
- ②ボリュームボタン
ボリュームを調整出来ます。
- ③戻るボタン
前の画面に戻ります。
- ④チューニングバー
左右にスライドして、希望の周波数に合わせます。
- ⑤周波数を下げる
タッチすると周波数を下げてサーチします。
- ⑥周波数を上げる
タッチすると周波数を上げてサーチします。
- ⑦バンド表示
現在選択されているバンドを表示します。
- ⑧周波数表示
- ⑨情報表示
- ⑩プリセットボタン
短くタッチしてプリセット局を選択します。2秒以上タッチして、現在の放送局をプリセット局として記憶します。
- ⑪ミュートボタン
短くタッチするとミュート、再度タッチするとミュート解除します。
- ⑫FM/AM バンドの切り替え
タッチする毎にバンドが切り替わります。
FM1/FM2/FM3/AM1/AM2
- ⑬P.SCAN
それぞれのプリセット局を約 5 秒間再生します。
再度押すとその局で止まります。
- ⑭ステレオボタン
ステレオとモノラルの切りかえを行います。
- ⑮オートメモリー
バンドを選び、オートメモリーをタッチすると、自動選局を開始され、周波数順にプリセットボタンに記憶されます。記憶が終わると、最初のプリセットボタンの放送局を受信します。
※受信電波の弱い地域では、オートメモリーでの受信が出来ない場合があります。
※自動選局中にオートメモリーをタッチすると、オートメモリーをキャンセルできます。
- ⑯ローカルボタン
ローカルモードに切り替わり、電波の強い放送局だけを受信します。

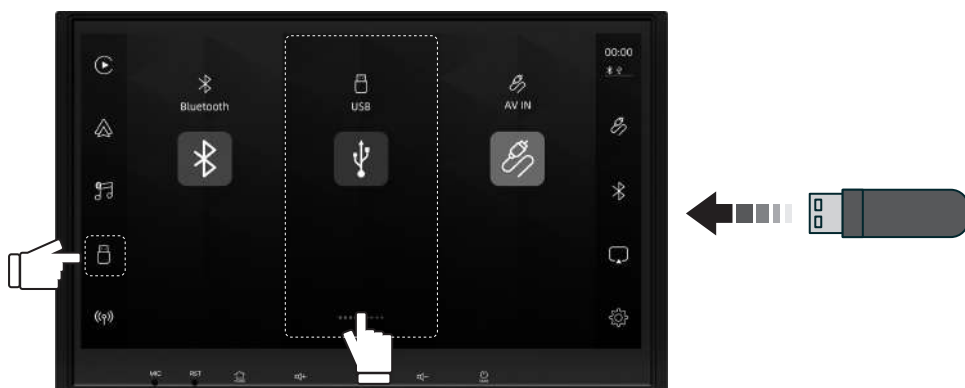
操作

■USB メモリー

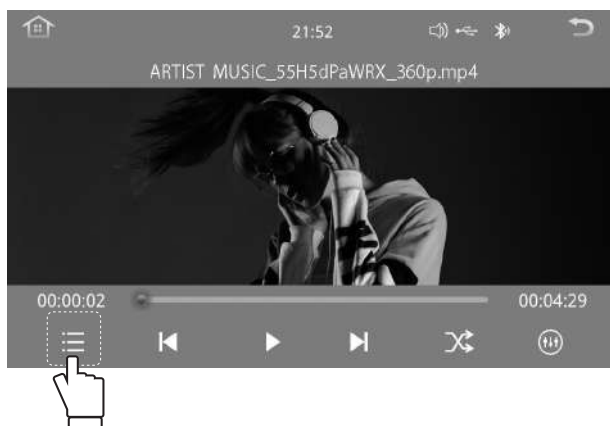
USB メモリーに保存している音楽ファイル（MP3/WMA/AAC/AC3/OGG/Real Audio/FLAC/APE）や動画ファイル（AVI/RMVD/MPEG/RM/MKV/MOV/MP4/WMV/FLV）および画像ファイル（JPEG/PNG/BMP）を本システム内部のプレーヤーで再生することができます。

■USB メモリー内のファイルを表示再生する

1. USB メモリーを USB 端子に挿入する
2. ホーム画面もしくはサイドメニューの [USB] をタップする



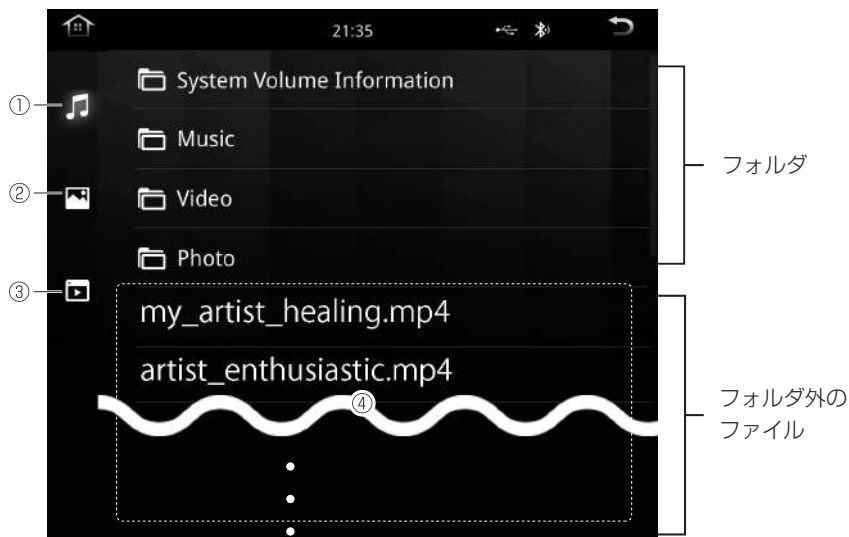
3. 保存されているファイルのメディアが再生されますので、[≡ リスト表示 / メディア切り替え] をタップして、表示、再生したいファイルを選択してください。



操作

■USB メモリー内の表示再生したいファイルを選択する

サイドメニューのアイコンをタップすると、再生表示したいファイルを選択できます。フォルダ外のファイルはフォルダの下に表示されます。

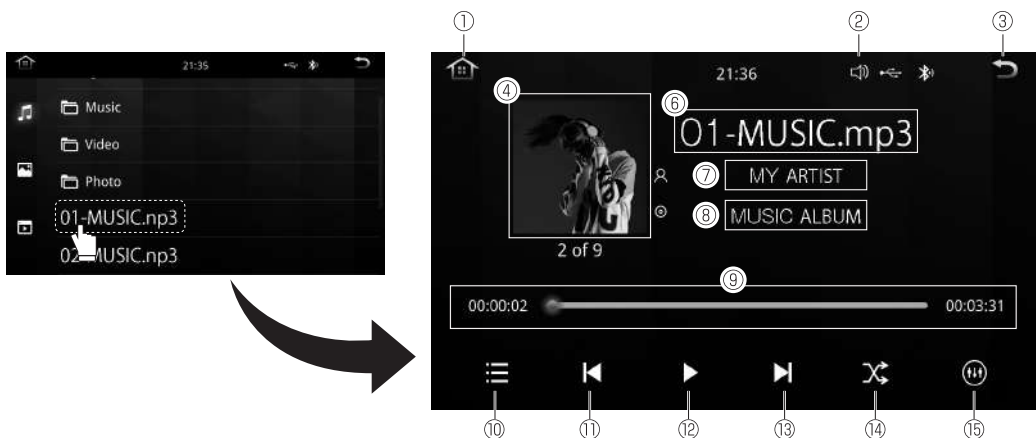


- | | |
|------------|-----------------------|
| ①音楽ファイル | : フォルダと音楽ファイルが表示されます。 |
| ②画像ファイル | : フォルダと画像ファイルが表示されます。 |
| ③動画ファイル | : フォルダと動画ファイルが表示されます。 |
| ④フォルダ外ファイル | : フォルダ外の各ファイルが表示されます。 |

操作

■USB メモリー内の音楽ファイルを再生する

1. 音楽ファイルの入った USB メモリーを USB 端子に挿入する
2. ホーム画面もしくはサイドメニューの [USB] をタップする
3. 音楽再生画面表示されます。音楽以外のメディアが再生された場合は、[≡リスト表示 / メディア切り替え] をタップし、音楽を選択してください。

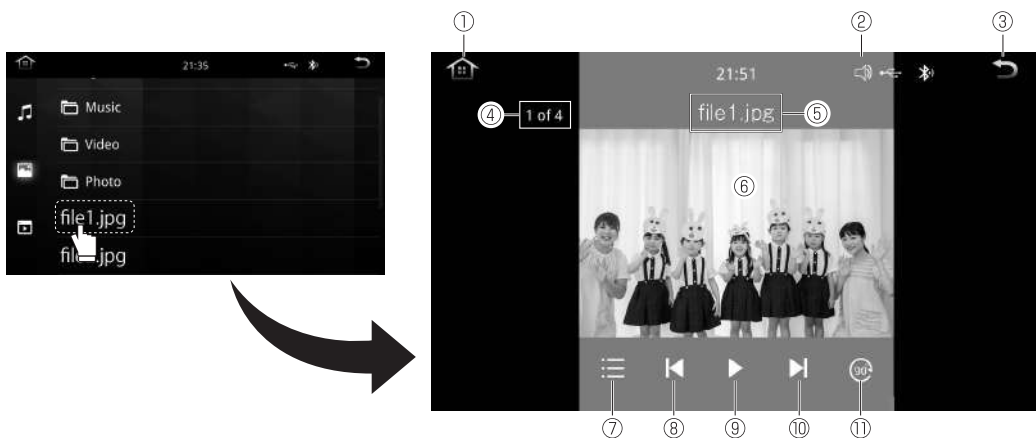


- ①ホームボタン
ホーム画面に切り替えます。
- ②ボリュームボタン
ボリュームを調整出来ます。
- ③戻るボタン
前の画面に戻ります。
- ④ジャケット表示
音楽ファイルにジャケット情報があれば、ジャケットを表示します。
- ⑤現在の曲番号 / 全曲数
- ⑥ファイル名を表示
- ⑦アーティスト名を表示
- ⑧アルバム名を表示
- ⑨タイムバー（経過時間 / 合計再生時間）
再生位置をスライドさせて、移動できます。
- ⑩リスト表示 / メディア切り替え
曲のリスト表示とメディア（音楽 / 映像 / 画像）切り替えを行います。
- ⑪ダウンボタン
前のファイルの頭出しをします。
- ⑫一時停止と再生ボタン
- ⑬アップボタン
次のファイルの頭出しをします。
- ⑭リピート再生 / シャッフル再生
[A]: 全ファイルを繰り返し再生します。
[1]: 現在再生中のファイルのみを繰り返し再生します。
[B]: フォルダ内のファイルのみを繰り返し再生します。
X: シャッフル再生します。
- ⑮サウンド設定
音質調整 / バランス調整設定画面に移行します。

操作

■USB メモリー内の画像ファイルを再生する

1. 画像ファイルの入った USB メモリーを USB 端子に挿入する
2. ホーム画面もしくはサイドメニューの [USB] をタップする
3. 画像再生画面表示されます。画像以外のメディアが再生された場合は、[≡リスト表示 / メディア切り替え] をタップし、画像を選択してください。

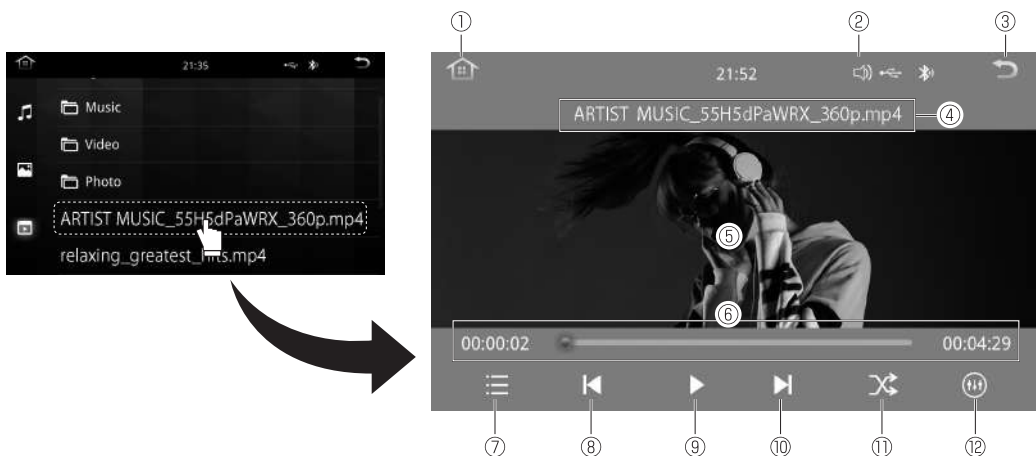


- ①ホームボタン
ホーム画面に切り替えます。
- ②ボリュームボタン
ボリュームを調整出来ます。
- ③戻るボタン
前の画面に戻ります。
- ④現在の曲番号 / 全曲数
- ⑤ファイル名を表示
- ⑥画像表示
- ⑦リスト表示 / メディア切り替え
曲のリスト表示とメディア（音楽 / 映像 / 画像）切り替えを行います。
- ⑧ダウンボタン
前のファイルの頭出しをします。
- ⑨一時停止と再生ボタン
- ⑩アップボタン
次のファイルの頭出しをします。
- ⑪画像の回転
タップすることにより画像が右に 90° 回転します。

操作

■USB メモリー内の動画ファイルを再生する

1. 動画ファイルの入った USB メモリーを USB 端子に挿入する
2. ホーム画面もしくはサイドメニューの [USB] をタップする
3. 動画再生画面表示されます。動画以外のメディアが再生された場合は、[≡リスト表示 / メディア切り替え] をタップして、動画を選択してください。



- ①ホームボタン
ホーム画面に切り替えます。
- ②ボリュームボタン
ボリュームを調整出来ます。
- ③戻るボタン
前の画面に戻ります。
- ④ファイル名を表示
- ⑤動画表示
- ⑥タイムバー（経過時間 / 合計再生時間）
再生位置をスライドさせて、移動できます。
- ⑦リスト表示 / メディア切り替え
動画のリスト表示とメディア（音楽 / 映像 / 画像）切り替えを行います。
- ⑧ダウンボタン
前のファイルの頭出しをします。
押し続けると早戻し (x2/x4/x8/x-16/x32) します。
- ⑨一時停止と再生ボタン
- ⑩アップボタン
次のファイルの頭出しをします。
押し続けると早送り (x2/x4/x8/x16/x32) します。
- ⑪リピート再生 / シャッフル再生
：全ファイルを繰り返し再生します。
：現在再生中のファイルのみを繰り返し再生します。
：フォルダ内のファイルのみを繰り返し再生します。
：シャッフル再生します。
- ⑫サウンド設定
音質調整 / バランス調整設定画面に移行します。

※運転者がテレビやビデオ、スマートフォン画面を見るときは、必ず停車してパーキングブレーキをかけてください。交通事故の原因になります。テレビやビデオ、スマートフォンは、安全のため走行中は初期設定の状態では表示されません。

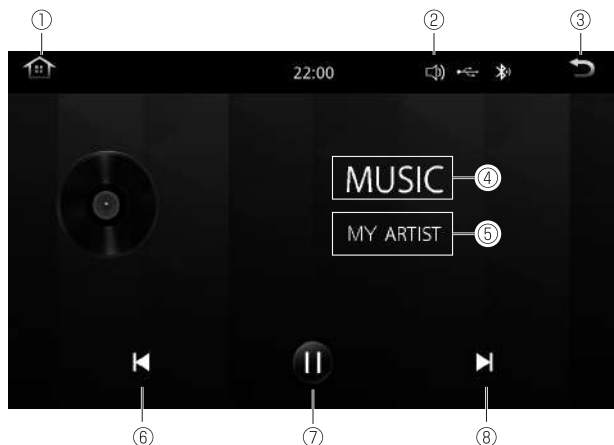
操作

■Bluetooth Music

- Bluetooth 対応携帯電話やポータブルプレーヤーなどがワイヤレスで接続されている場合、曲を再生することができます（本機から操作が可能です）。
- Bluetooth 対応機器によって、操作が異なる場合があります。

■Bluetooth Music を再生する

1. ホーム画面もしくはサイドメニューの [BT Music] をタップする
2. 楽再生画面表示されます。



- ①ホームボタン
ホーム画面に切り替えます。
- ②ボリュームボタン
ボリュームを調整出来ます。
- ③戻るボタン
前の画面に戻ります。
- ④ファイル名を表示

- ⑤アーティスト名を表
- ⑥ダウンボタン
前のファイルの頭出しをします。
- ⑦一時停止と再生ボタン
- ⑧アップボタン
次のファイルの頭出しをします。

操作

■AV IN

ホーム画面もしくはサイドメニューの [ AV IN] をタップすると AV IN の画面が表示されます。



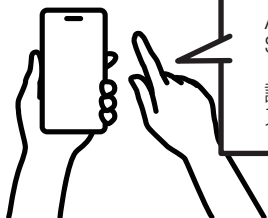
- ①ホームボタン
ホーム画面に切り替えます。
- ②ボリュームボタン
ボリュームを調整出来ます。
- ③戻るボタン
前の画面に戻ります。
- ④AV IN 画面

※運転者がテレビやビデオ、スマートフォン画面を見るときは、必ず停車してパーキングブレーキをかけてください。交通事故の原因になります。テレビやビデオ、スマートフォンは、安全のため走行中は初期設定の状態では表示されません。

操作

■CarPlay

Apple CarPlay で iPhone をよりスマートかつ安全に車内でお使いいただけます。Apple CarPlay を使えば、運転中に iPhone でしたいことを取り込んで、本機で操作できるようになります。行き方を調べる、電話をかける、メッセージを送受信する、音楽を聴くなど、運転に集中したまますべてをこなすことができます。iPhone を本機に接続するだけで準備完了です。



Apple CarPlay を利用するには、iPhone の“設定”で Apple CarPlay と Siri を有効にしてください。

設定画面で Carplay を ON にし、iPhone を本機にケーブルまたはワイヤレス接続してください。

■CarPlay の利用を開始する

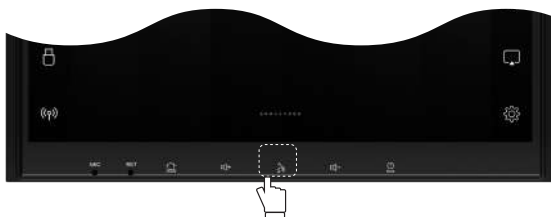
- 1.ホーム画面もしくはサイドメニューの [CarPlay] をタップ
- 2.CarPlay 画面が表示されます。



■音声認識を使う

- 1.音声認識 (Siri) スイッチを押す。Siri が起動します。
- 2.希望の操作を発話する。
- 3.Siri モードを終了を終了するには、音声認識スイッチを押す。

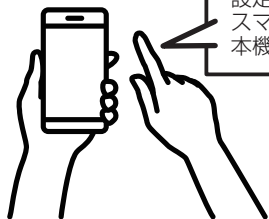
※iPhone によっては、Siri が自動的に終了する場合があります。



操作

■Android Auto

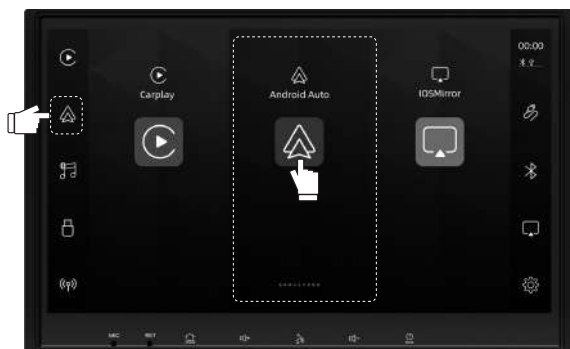
Android Auto は、運転にもっと集中できるように運転中でも Android スマートフォンを使用することができます。道順を調べたり、電話をかけたり、音楽を聴いたりすることができます。また、音声操作でさまざまな便利な機能をお使いいただけます。



設定画面で AndroidAuto を ON にし、Android Auto を搭載したスマートフォンを接続すると、その他の電話の Bluetooth 接続を切り、本機とペアリングをおこないます。

■AndroidAuto の利用を開始する

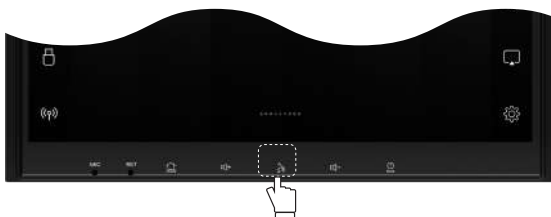
- 1.ホーム画面もしくはサイドメニューの [AndroidAuto] をタップ
- 2.AndroidAuto 画面が表示されます。



■音声認識を使う

1. 音声認識スイッチを押す。
2. 希望の操作を発話する。
3. 音声認識モードを終了を終了するには、[音声認識] をタップ

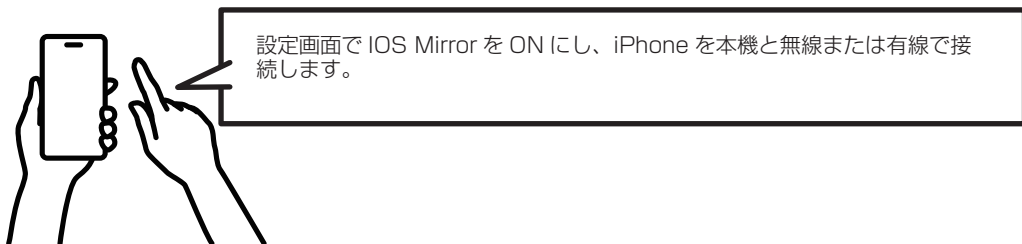
※スマートフォンによっては、音声認識が自動的に終了する場合があります。




操作

■IOS Mirror

iPhone の画面をミラーリングすることができます。



■IOS Mirror の利用を開始する

- 1.ホーム画面もしくはサイドメニューの [ IOS Mirror] をタップ
- 2.IOS Mirror 画面が表示されます。

※運転者がテレビやビデオ、スマートフォン画面を見るときは、必ず停車してパーキングブレーキをかけてください。交通事故の原因になります。テレビやビデオ、スマートフォンは、安全のため走行中は初期設定の状態では表示されません。



操作

Bluetooth

iPhone またはスマートフォンと Bluetooth 接続を行い、BT Music の再生やハンズフリー電話を使用する事ができます。

iPhone またはスマートフォンと接続

1. [通信機器設定] をタップする。



2. iPhone またはスマートフォンの Bluetooth 接続設定画面で、新規接続を行い、CAR-xxxx を選択してペアリングを行う。



3. ペアデバイスリストから接続したい iPhone またはスマートフォンを選択して、[接続] をタップします。



4. [接続されています] が表示されたら接続完了です。



操作

■iPhone またはスマートフォンとの切断

1. [通信機器設定] をタップする。



2. ペアデバイスから切断したい iPhone またはスマートフォンを選択して、[切断] をタップします。



3. [切断されています] が表示されたら切断完了です。



操作

■電話を受ける / 拒否する

1. 着信すると、着信音が流れ着信画面が表示されます。



2. [受話] をタップすると、通話を開始します。
[拒否] をタップすると、着信を拒否します。

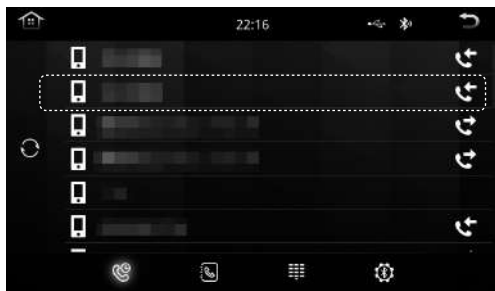


■最近の通話記録から電話を掛ける

1. [通話履歴] をタップする。



2. 履歴から電話を掛けたい相手を選んでタップし、通話を開始します。



操作

■電話帳から電話を掛ける

1. [📞 電話帳] をタップする。



2. 電話帳から電話を掛けたい相手を選んでタップし、通話を開始します。

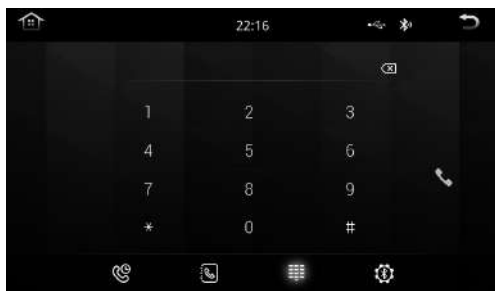


■番号入力画面から電話を掛ける

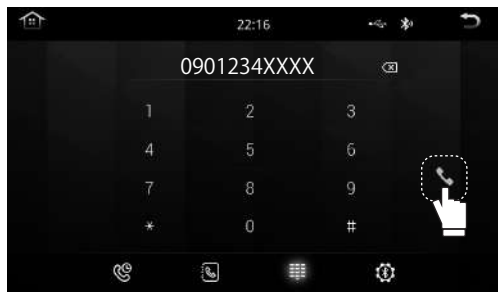
1. [📞 番号入力] をタップします。



2. かけたい電話番号を入力する。



3. [📞 受話] をタップすると、通話を開始します。



製品仕様

	SKY-DA10F	SKY-DA8F	SKY-DA7F
OS	Linux		
フラッシュROM	SPIFLASH1Gb		
メモリー	DDR3 1Gb		
画像サイズ	10.1 インチ .LVDS, 解像度：1280×720	8 インチ .LVDS, 解像度：1280×720	7 インチ .LVDS, 解像度：1280×720
Wifi	2.4GHz 5.2GHz((5150~5240 GHz) *EIRP less than 40mW		
Bluetooth	BT4.2+EDR		
Video 入力	CVBS(NTSC) *RCA 端子		
Video 出力	CVBS(NTSC) *RCA 端子		
Audio 出力	4.1Ch (Front-L/R, Rear-L/R, Subwoofer)		
マイク	内蔵 もしくは外部		
Back Camera 入力	AHD 1280×720P/ CVBS 720×576P *RCA 端子		
Front Camera 入力	CVBS(NTSC) *RCA 端子		
AMP	ノーマル 25W×4/ 最大 45W×4		
USB	USB1: CarPlay & AndroidAuto & 充電 1.2A USB2: マルチメディア再生 & 充電 0.8A		
USB 音楽ファイル	MP3 / WMA / AAC / AC3 / OGG / Real Audio / FLAC / APE		
USB ビデオファイル	avi / rmvb / mpeg / rm / mkv / mov / mp4 / wmv / flv		
USB 画像ファイル	JPEG / PNG / BMP		
ラジオ	FM : 76 ~ 95MHz (ワイド対応) AM : 522 ~ 1629kHz		
スマートフォン連動	有線 / 無線 iOS ミラー / CarPlay/AndroidAuto		
サイズ	ディスプレイ W約247×H約136×D約28(mm) (ノブ部含まず) シャーシ W約178×H約100×D約120(mm)	ノーズ寸法 W約193×H約123×D約8.5(mm) シャーシ W約200×H約125×D約118(mm)	ノーズ寸法 W約174×H約98×D約10.5(mm) シャーシ W約178×H約100×D約120(mm)
入力電圧 (V)	12V (10.5 ~ 17V)		
消費電力 (A)	最大 10A 45W*4 スピーカー出力時		
動作温度	-20℃ ~ +60℃		
保存温度	-20℃ ~ +70℃		
対応スマートフォンOSバージョン	iOS : iOS 10 以上 / Android : Android 11 以上		

MEMO

保証規定

1. 取扱説明書の注意書に基づくお客様の正常なご使用状態のもとで保証期間内に万一故障した場合、無料にて故障個所の修理をさせていただきますので、お買い上げ販売店に本保証書を添えてお申し出ください。
2. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については当社はその責任を負わないものとします。
3. 海外で使用された場合、あるいは不当な改造については当社は一切の責任を負わないものとします。
4. 修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、または送付される場合の送料、取り付け、取り外し費用及び諸掛かりはお客様のご負担となります。なお、ご送付の場合は適切な梱包の上、紛失防止のため受け渡しの確認できる手段（簡易書留や宅配など）をご利用ください。
次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。

- (1) 保証書のご提示がない場合。
- (2) 本保証書に保証期間、品名、販売店、お買い上げ日の記入のない場合、または字句を書き替えられた場合。
- (3) お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等、お客様の取り扱いが適正でないために生じた故障、損害の場合。
- (4) お客様による使用上の誤り、あるいは修理による故障および損傷。
- (5) 本製品に接続している当社指定以外の機器および商品に起因する故障および損傷。
- (6) 正常なご使用方法でも消耗品が自然消耗、摩耗、劣化した場合。
- (7) 業務用車両（営業車・タクシー等）および改造車両での使用、または車載使用以外の用途での使用の場合
- (8) 取り付けミスや接続ミスによる故障、損傷および焼損など
- (9) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天変地異および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧などによる故障および損傷、なお本製品の故障が起因による直接的または間接的な損害（脱着工賃、事業利益の損失、事業の中断、運賃、その他金銭的損害、記録内容の変化・消失など）、逸失利益の保証等につきましては、弊社では一切の責任を負いかねます。弊社に重大な過失がある場合を除き、損害賠償責任は本製品の購入金額を上限とさせていただきます。

ご不明の点は、お買い上げ販売店にご相談ください。

5. この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
6. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only Japan.)

保証書 (書き込み欄)

持ち込み修理

本書は、本書記載内容により無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中に万一故障が発生した場合は、本書を提示の上お買い上げの販売店または、株式会社 SKYcreation に修理をご依頼ください。
本書の再発行は行いませんので、紛失しないように大切に保管してください。

品名	10.1 インチ液晶フローティングディスプレイオーディオ 8 インチ液晶ディスプレイオーディオ 7 インチ液晶ディスプレイオーディオ
機種名	SKY-DA10F / SKY-DA8F / SKY-DA7F
保証期間	お買い上げ日より 2 年間 (本体)
	お買い上げ日： 年 月 日
販売店	店名 住所 電話

ご販売店様へ

この保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。
贈答品、記念品の場合も含めて必ず記入捺印してお客様にお渡ししてください。

問い合わせ先

株式会社 SKYcreation

住所:〒194-0015 東京都町田市金森東3-6-5-201



電話でのお問い合わせ

TEL : 03-6435-7573

受付時間：平日 10 時～12 時 / 13 時～16 時（土日祝日と弊社指定休業日は除く）



LINEでのお問い合わせ

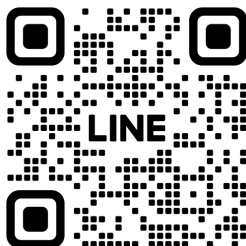
LINE 公式アカウントから、お問い合わせをいただけます。
オペレーターがサポートしますので、お気軽にご利用ください。

【本サービスご利用時の注意事項】

- LINE アプリのインストールが必要です。
- 本サービスでは、LINE 音声通話 / ビデオ通話での対応は行っておりませんので、あらかじめご了承ください。
- オペレーター回答時間
使い方 / 修理窓口: 受付時間: 平日 10 時～12 時 / 13 時～17 時（土日祝日と弊社指定休業日は除く）

ご利用方法

LINE アプリがインストールされたスマートフォンなどの携帯端末から、以下の「二次元コード」を読み取ってください。



LYNX